

政策の柱2 子育て・教育

未来を担う
人づくり



生涯を
通じた学び



歴史文化の
継承

ふるさと愛を育むまち

少子高齢化と人口減少の克服には、子どもが健やかに成長できる環境づくりが最も重要です。グローバル化がますます進む21世紀を生きる子どもたちが、国際感覚を持ちながら個性と創造力を伸ばすことができるよう、子育て環境と学校教育の充実、さらには、生涯にわたって生きがいを持てる環境づくりを進め、市民一人ひとりのふるさと愛を育むまちを目指します。

若者の定着と子育て日本一のまち

◆結婚・出産祝品支給事業【拡充】775万円 <市民税務課>

少子化対策と定住対策を後押しするため、婚姻届を提出された方1組につき、市内で使える商品券など5万円相当の結婚祝品を贈呈します。またお子さんが生まれた際に、10万円および地場産品等5千円相当の出産祝品を贈呈します。

◆ワーク・ライフ・バランス実践企業支援事業【新規】50万円 <社会教育課>

仕事と家庭の両立を後押しするため、女性の管理職登用や男性社員の育児休暇等を実践する市内の企業・団体等を支援します。

◆病児病後児保育事業【継続】1,055万円 <福祉課>

令和2年度に開始した病児病後児保育を継続し、安心して子育てできる環境の充実を図ります。(乳児～小学生を対象)

◆ICT活用授業支援事業【新規】396万円 <こども教育課>

令和2年度に市内全小中学校に導入したタブレット端末を活用し、時代に合った授業のあり方を支援します。(GIGAスクールの推進)

◆漢字検定受験料助成事業【新規】43万円 <こども教育課>

漢字の習得を図り、児童のチャレンジ精神を応援します。(小学校5・6年生は7級、6年生は6級に挑戦)

◆芭蕉・清風歴史資料館特別展【新規】169万円 <社会教育課>

「鈴木清風没後300年」「徳良湖築堤100年記念」「上の畑焼復興40年の歩み」の3つの特別展を開催します。

◆オリンピック・パラリンピック関連事業【新規】909万円 <社会教育課>

聖火リレーをはじめとするオリンピック・パラリンピック関連事業を開催し、「希望の道を、つなごう。」のコンセプトのもと、市民みんなで応援します。



▲人口減少、少子化に歯止めをかけるため、結婚祝品や出産祝品を充実するなど様々な対策をとっている。



▲男女共同参画社会の中では、市民や市内に勤務する一人一人の意識高揚も必要。2月25日には市主催で女性活躍推進研修会を開催した。



▲昨年7月に開設された病児病後児保育施設「なないろ」。仕事と子育ての両立を後押ししている。

政策の柱1 産業振興

やりがいの
ある農業



牽引する
商工業



魅了する
観光業

キラリと光る産業のまち

地域産業の振興は定住人口の増加と地域活性化の「原動力」です。グローバル化する社会経済情勢を見据え、世界を意識しながら、本市の地域特性を活かした足腰の強い産業振興と雇用の創出を図り、一人ひとりがいきいきと働くキラリと光る産業のまちを目指します。

地域資源を活かした活力あるまち

◆徳良湖築堤100周年記念事業【新規】1,369万円 <総合政策課・農林課・商工観光課・社会教育課>

徳良湖築堤100周年を祝うため、徳良湖一周花笠おどり、県内ゆかりの歌手による野外ステージ、記念植樹、徳良湖フォトコンテスト、全国花笠マラソン大会などを開催します。

◆徳良湖周辺施設整備事業【継続】3,000万円 <商工観光課>

グラウンドゴルフ場向かい側の丘陵地に新たに花畑を造成し、観光地としての徳良湖の魅力向上を図ります。

◆レストラン徳良湖改修事業【継続】2,113万円 <商工観光課>

レストラン徳良湖の環境整備として、既存トイレの改修と多目的トイレを新しく設置するなどの工事を行います。

◆儲かる農業支援事業【新規】1,110万円 <農林課>

認定農業者や農業後継者、新規就農者等を対象に、夏すいか日本一の尾花すいかの生産基盤強化とスマート農業技術の導入に特化して支援します。

◆就農移住者支援事業【新規】1,007万円 <農林課>

農業の担い手を確保するため、本市に移住し就農しようとする方と、研修生の指導にあたる市内在住農家を支援します。

◆雪のラブレター20周年記念本発行事業【新規】400万円 <商工観光課>

これまでの作品を集めて書籍化します。

◆地域活性化起業人推進事業【新規】560万円 <商工観光課>

民間企業の社員を受け入れ、そのノウハウを活かして地域の魅力や価値の向上につなげるための事業を行います。



▲築堤から100周年を迎える徳良湖。老若男女問わず、より一層親しまれる環境づくりが進められている。



▲農業の担い手確保のため、移住者向け農業体験なども実施している。



▲地域の魅力発掘は市の観光業にとって重要。昨年12月には新たな試みとして銀山温泉街でプロジェクトマップが行われた。